

- ・愛知県デジタル文化財図録の作成
県民からはアクセス照会等が多数寄せられている。
- ・県指定文化財の啓発（県指定プレートの配付）
配付先：財団法人明治村始め 148 件

(1) 取組の成果

郷土の伝統芸能を直に体験することのできる「出前民俗芸能教室」を開催することにより、地域の無形民俗文化財への理解と伝承について、子どもたちの意識を高めることができた。

また、県内の国・県指定文化財、登録文化財等について「デジタル文化財図録」として、インターネット上で紹介することにより、県民の文化財に対する理解を深めることができた。



愛知県デジタル文化財図録

(2) 今後の課題・方向性

県内に所在する文化財の保護・活用のための基本情報を提供するため、デジタル文化財図録を一層充実するとともに、出前民俗芸能教室の実施により、民俗芸能等の後継者の育成を図る必要がある。

15 県立学校への部活動専門指導員の配置

施策の概要

県立学校の部活動を通じて生徒の自発的な活動を助長し、心身の健全な育成を図るため、外部指導者を部活動専門指導員として配置し、活動の充実を図ります。

平成 20 年度の取組

県立高等学校 42 校 44 部に部活動専門指導員を配置

配置時間数：部活動当たり月平均 18.3 時間（週平均 4.6 時間）

(1) 取組の成果

部活動専門指導員から主に専門的な実技指導を受けることにより、部活動の一層の充実、活性化に寄与した。

また、地域に根付いた特色ある部活動や、その運動種目、領域を専門とする教員が極めて少ない部活動（詩舞道 3、和太鼓 5、箏曲 3 など）に優先的に配置することで、学校の特色の地域への発信や、その学校でしか体験できない活動をとおして、生徒の自己実現の支援をすることができた（豊丘高校

和太鼓部は、平成20年度全国高等学校総合文化祭で優良賞を受賞)。

配置校決定に当たって、従前5年間を一区切りとしていた継続配置期間を3年間とし、学校の事情に柔軟に対応するとともに、学校支援の観点をより重視して配置校数を増加した。

(2) 今後の課題・方向性

配置の効果等を適切に評価し、配置校の選定に反映していく必要がある。

16 弥生時代の「ものづくり」体験事業（20年度終了）

施策の概要

弥生時代の遺跡から出土した資料をもとにした、小中学生向けの体験学習講座を開催します。

平成20年度の実施

3講座を実施（場所：清洲貝殻山貝塚資料館）

・「土器づくり」体験講座

12月6日（土）・1月10日（土）23組48人参加

・「米づくり」体験講座

6月14日（土）・10月25日（土）・1月10日（土）18組40人参加

・「編物・織物づくり」体験講座

7月5日（土）・7月12日（土）15組33人参加

(1) 取組の成果

子どもたちが、古代の様々な「ものづくり」を体験することによって、先人たちが積み重ねてきた工夫を知り、歴史への関心を深めるとともに、文化財を大切に作る心を養うことができた。



土器づくり

(2) 今後の課題・方向性

県内の各市町村の博物館・資料館などを活用して、歴史の関心を深めるような体験学習講座を広めていく必要がある。

読書活動

「愛知県子どもの読書活動推進協議会」を設置し、愛知県子どもの読書活動推進大会の開催などにより啓発を行いました。また、青少年によい本をすすめる県民運動の実施や「みんなにすすめたい一冊の本」の作成を行いました。

17 「愛知県子どもの読書活動推進協議会」の設置

施策の概要

子どもの読書活動を推進するため、「愛知県子ども読書活動推進計画」の効果的な推進や啓発を図ります。

平成20年度の取組

- ・愛知県子ども読書活動推進協議会の開催
学識経験者、図書館、市町村、学校、社会施設の関係者、民間団体及び県関係課による22人で構成し、年2回（7月、1月）開催
- ・啓発広報の展開
- ・愛知県子ども読書活動推進大会の開催
平成20年11月14日（愛知県図書館）
参加者：司書、教員、ボランティア等の150人
内容：事例発表、読み聞かせ等の実践指導、有識者によるフォーラム等
- ・子ども読書活動に関する各種情報収集
- ・専用ホームページによる関連情報の提供
「愛知県子ども読書活動推進協議会」「読書環境調査」「愛知県子ども読書活動推進計画」等の掲載

(1) 取組の成果

「愛知県子ども読書活動推進協議会」の開催により、県・市町村、図書館、学校、民間団体等の連携・協力体制の整備、協働のあり方や方策について検討でき、新たな連携の取組が企画されるなど、子どもの読書活動を推進した。

また、「愛知県子ども読書活動推進大会」を開催することで、地域や学校等での優れた取組の紹介をした。



フォーラム（推進大会）

(2) 今後の課題・方向性

さらに幅広い関係諸団体が連携・協働して取り組んでいくよう働きかけていく必要がある。

小中学校における読書活動の状況

項目	区分	19年5月	20年5月
全校一斉の読書活動の実施状況	小学校	97.1%	98.8%
	中学校	91.7%	92.7%
朝読書の実施状況	小学校	90.0%	91.4%
	中学校	88.1%	89.7%

18 青少年によい本をすすめる県民運動

施策の概要

青少年向け優良図書目録、啓発ポスターの策定・配布などをします。

平成 20 年度の取組

強調月間 10 月 1 日～10 月 31 日

愛知県青少年育成県民会議と連携して、優良図書の読書感想文を募集するとともに、県書店商業組合の協賛により、一宮市立浅井北小学校学校始め 78 校等に 2,100 冊余りの図書を寄贈するなど、よい本をすすめる運動を展開した。

(1) 取組の成果

青少年が優れた本（よい本）を読み、心の糧にすることにより、青少年の創造力・社会性を養い、豊かで健全な心を育てる役割を果たすことができた。

(2) 今後の課題・方向性

より多くの青少年が県民運動に参加するよう、市町村、県民会議参加団体、小中学校校長会、高等学校校長会などに対し積極的な周知を依頼するとともに、強調月間以外でも関係団体との連携を図り、読書活動の推進を図っていく必要がある。

19 「みんなにすすめたい一冊の本」の作成・配布

施策の概要

愛知県ゆかりの著名人が、心に残っている本や子どもたちに読んでほしい本への思いを綴った「みんなにすすめたい一冊の本」を作成・活用し、読書活動を推進します。

平成 20 年度の取組

- ・ 図書紹介本の予告版リーフレットを作成・発行
 - 愛知県ゆかりの著名人の選考
 - 著名人（約 50 人）に推薦図書の紹介を依頼
 - 県内公共図書館に推薦図書の紹介を依頼

(1) 取組の成果

各分野で活躍する 50 人の「愛知県ゆかりの著名人*」と県内 61 か所の公共図書館に依頼し、冊子の原稿を整えることができた。また、冊子の予告版リーフレットの作成・配布により、冊子の内容や子どもの読書活動推進に対する関心を高めると共に、学校における図書の整備等に役立ててもらうことができた。

*主な愛知県ゆかりの著名人：

赤星憲広、浅田真央、天野ひろゆき、井戸田潤、梅原猛、小澤一敬、酒井雄二、ジョン・ギャスライト、竹下景子、寺尾悟、中島一貴、平田満、藤井淳志、松岡錠司、三宅民夫、矢野きよ実、吉田沙保里、吉田秀彦 など

(2) 今後の課題・方向性

予告版リーフレットに「みんなにすすめたい一冊の本」コーナーの設置や、掲載図書の読み聞かせなど、様々な活用例を記載し、「みんなにすすめたい一冊の本」が学校、家庭、公共図書館で活用されるよう促していく必要がある。

また、各学校における本書の活用や読書活動推進の取組に関する状況についてアンケート調査を実施し、結果を各小中学校に情報提供することで、「みんなにすすめたい一冊の本」の積極的な活用を図っていく必要がある。

健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間